

# NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



## 「いいの認定こども園」の素敵な子供たち

こんにちは。「いいの認定こども園」は、旧飯野幼稚園と旧飯野おひさま保育所が一緒になり平成31年度(令和元年)4月にスタートしました。

場所は、旧飯野おひさま保育所の所です。毎日たくさんの子どもたちのにぎやかな声が響きわたっています

(次ページに続く)

いいの認定こども園長 三浦 眞智子

## みんなの広場



① ②の違いは会の趣旨に賛同する方という点では同じですが、①は総会での議決権があり、直接活動に参加していただくのに対して、②は賛同の気持ちを財政面で支えていただく方という違いがあります。両会員に対し、寄せていただいた会費がどのように成果を上げているかを定期的にお知らせするのは大切なことで、この会報等でご報告しているのはこのためです。

一般的にNPOの主たる収入は、1 会費・寄付金 2 事業収入 3 補助金 4 受託収入 の4つと言われています。

2013年の立ち上げ後は、会費収入が運営を継続し、会の成長にとって特に重要でした。

現在の状況は、会員の皆様の支援や職員の頑張りもあり、自前の財源が増え、財政基盤もある程度確立してきています。現在の状況は、上記2 事業収入（訪問介護や居宅介護支援の介護サービス事業）の比重が大きくなっており、剰余も生み出しています。

また、3 補助金は該当事業の申請はしておりませんので、ありません。4 受託事業は認定調査の受託を受けており、収入はありますが大きな額ではありません。

それらの推移を踏まえ、会員増にもつなげるために、会費金額の改定について検討をすすめております。



### 暑さにも負けず

最近温暖化で今年も猛暑が続きましたが、わたしは結構暑さに強く、最高5時間草むしりをした時も熱中症にはならず無事終わることができました。わたしなりの暑さ対策はシンプルで、水分と塩分を多めにとることです。好き嫌いはなく“やせの大食い”ですが、肺の病気をもっているため朝晩の薬は欠かせません。しっかり噛んで食べることが健康の秘訣かと思っています。

草むしりのボランティアをしていて2～3年になりますが、昔から農業をしていたので土いじりは苦になりません。これからもできる限り続けたいと思っています。体を動かすことが好きで、この前は長寿会の運動会に参加してきました。残念ながら青木は二位でしたが…。

今は落ち葉の片づけ中。これからの冬はインコのピーちゃんのお話、読書、ジョギング（5000歩位）といつも前向き！な私です。

<生活支援ボランティア

加藤 ハル子>

# 上半期(平成31年4月～令和元年9月)活動報告

平成から令和に時代が変わった今年度上半期は、4月に新しい介護職員が加わった半面、土日を専門とする職員の担当が減少する等、訪問介護事業部門の仕事のシフトに変化がありました。

結果的には、事業収益は平成30年(前年)度とほぼ同じとなりました。

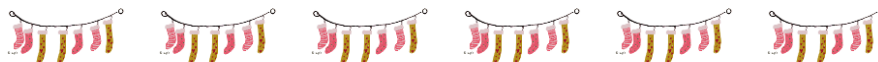
居宅介護事業部門では、非常勤職員が担当する利用者さんの枠を増やしたり、新たな非常勤職員にも業務を担当してもらいましたが、全体としての利用者数は前年度並みとなり、上半期の事業収益

も前年度並となりました。

また、生活支援事業部門については、利用者数は増加しましたが、1件あたりの利用額が減少したことにより、事業収益は若干の減少となりました。

法人管理面では、これまで理事会や決算監査に出席して頂いた非常勤役員に対して、手当がありませんでしたが、今年度より、出席1回につき交通費等手当として1,000円を支払う事にしました。

下半期も、前年度水準をめざしています。



(表紙からの続き)

地域のみなさまから子どもたちのためにと、昔話を聞かせていただいたり、お花や畑づくりのお手伝いをしていただいたり、地区の行事に参加させていただいたり、昆虫や立派な布をご寄付いただいたり等々、いつもお世話になっておりますことに感謝申し上げます。

これからも、子どもたちは人間味あふれるすてきな経験をしながら、すくすくと大きくなっていくことでしょう。ひとりひとりの育っていく姿を楽しみにしたいと思います。



## 正会員及び賛助会員の会費について検討(理事会報告)

今年度総会で会費の納入額が前年度よりも減っているのはどうしてか? 会員数の伸び悩みはなぜか? 等の意見を受け、今年度は会員のあり方、会費金額等について、改めて検討することとしております。理事会で議論しておりますので、ポイントをお知らせいたします。

現在の会費額については、設立総会(2013年)で決定しています。

- ①正会員会費：年1口5,000円
- ②賛助会員会費：年1口3,000円

## <安心して住み続けられるまち リレートーク その7 >



### わたしのカメラ散歩

わたしがカメラを手にしてから瞬く間に歳月が流れてしまい、最近では膝の老化で思うように出歩けなくなってしまいました。ももりん体操やウォーキングをしていますが、炬燵には腰かけて入っています。

そんな毎日ですが、『いいの写友会』の皆様との撮影旅行はとても楽しみで、この前も紅葉の米沢、月山まで足をのばし、秋を満喫して来ました。庭先の花等もよく撮りますが、やはり風景写真が好きです。



**会員・賛助会員  
ボランティア募集**



NPO やすらぎの郷いいの  
福島市飯野町字前川16  
TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

“さりげない老後の楽しみ”があるのはうれしいことです。来年もつるし雛祭りでの写友会展への出品から始まります。写真に興味がある方、一緒にパチリ☆とやりませんか?何才からでも始められます。(ちなみにわたしは今は、デジタルカメラを使っています。来年の干支のネズミを手造りして撮ってみました。。。)

< 佐藤 歌 >

一言

COP25 (国連気象変動枠組条約締約国会議) が開催されています。地球温暖化のことが喫緊の課題となっています。16才の少女グretaさんの話が注目の的になっています。「食料、エネルギー、ケア」は地産地消という考え方があります。東日本大震災の時、ケアは地域の中で行うことの必要性を実感しました。少し遠いところのヘルパー事業所からヘルパーがガソリンがなくて訪問できないということが起こったからです。温暖化防止にも「食料、エネルギー、ケア」は地産地消で・

(K)